



せいふう会事務局だより



ハイライト:

- 今年は幹事会を開催します
- 役員改選と幹事の募集
- 新事務局は畑中（2期生、D科助手）です
- せいふう会ホームページ
- 活動の報告
- 学科長からの挨拶
- 学科の近況
- ロゴマーク募集

今年は幹事会を開催します

早いもので本年3月で電子制御工学科の卒業生も11期生となりました。また、4月には16期生40名が入学しました。せいふう会会員数も400名を超え、そろそろ同窓会の今後を考えなければなりません。そこで、今年の夏以降に幹事会を開催したいと考えています。詳しい連絡はメールで行いますが、検討したいこと、検討して欲しい事などありましたら、事務局までご連絡ください。

行う機会に、幹事と役員を改選してはどうかと考えています。まだ、現役員の方の意見も伺ってはいませんが、ご意見がありましたら事務局までご連絡ください。また、せいふう会の幹事をやってみたいと思われる方もご連絡をお待ちしています。

新事務局は畑中（2期生、D科助手）です

これまで、せいふう会の事務局は、D科の木下先生と福永の2名でした。しかし、D科にもD科卒の第1号教官が誕生しました。そこで、事務局もD科OBで行うということで、今年度から畑中が事務局員となりました。また、毎年新しいせいふう会員が誕生するわけですが、新会員の方たちとの連絡等を円滑に行うため、その年の5年担任教官が事務局に加わることとなりました。そこで、本年度は遠藤眞一郎先生を加え、畑中、遠藤（真）の2名が事務局となります。今後ともよろしくお願いします。

役員改選と幹事の募集

さて、せいふう会も年数を重ね、幹事の方、特に会長（村山さん、1期生）や会計（小島さん、3期生）にはいつもお世話になっています。しかし、いつまでも同じ方ばかりにお世話になるわけにもいきませんし、新しく幹事となって同窓会を活発にしたいと考えているOBの方も見えるのではないかと思います。そこで、今年幹事会を

せいふう会ホームページ

せいふう会のホームページへは下記の電制ホームページからリンクが貼ってあります。掲示版もあるので、一度見てください。

電制ホームページは

<http://www.gifu-nct.ac.jp/elcon/index.html> です。

活動の報告

せいふう会では、電子制御工学科の学生の学外活動（ロボットグランプリへの参加等）をサポートしています。学生時代にロボットグランプリへ参加した方も見えると思いますが、その制作費の一部はせいふう

会が援助しています。なかなか優勝などは出来ませんが、学生のすばらしい経験の場を提供して頂いており感謝しております。また、今後の活動へのご意見もお待ちしていますので、事務局までご連絡ください。

電子制御工学科長からの挨拶

せいふう会の皆さん、電子制御工学科主任の臼井です。

電子制御工学科は、昭和63年に創設され、15年目を迎え、これまでに11期、約440名あまりの卒業生を企業、大学等へと送り出してきました。十年ほど前は、岐阜高専の建物の中で、とりわけ真新しかった電制棟も年月を経てそれなりの風格を漂わせている今日この頃です。一方、教官も学科創立以来、退職、他大学への転出等、半数の先生方が移動されていますが、現在11名の教官により、来年より岐阜高専の独法化に向け、新生電子制御工学科を立ち上げようと頑張っております。

これまで電子制御工学科は、電気電子系と機械系、情報系の三分野を有機的に結合し、知能化システムを構築できる技術者を育成するために次のような教育指針のもとで専門教育を行ってきました。基礎学力向上のために第3学年から第5学年までの3学年統一試験の実施。自主的な勉学意欲の向上のために、工業英検・デジタル検定や情報処理技術者試験など各種資格試験にチャレンジさせ、またものづくり教育のためにロボコン、プロコン、ロボグラなど各種コンテストにも積極的に参加するよう指導及びサポートを行ってきました。またせいふう会の資金援助により、機械学会主催のロボットグランプリへは、過去4年間連続出場しています。一方、国際感覚を身に付けさせるために、英語による卒研発表の導入など他学科に無い、進歩的な企画を積極的に導入し、学内外における英語による学術発表の実践も行ってきました。こうした創造的・開発型技術者の育成を目指した実践的基礎教育をさらに推進するために、昨年度、大型予算の理工系推進経費を用いて、電子制御総合実験教育システムを導入し、来年度から第4学年の工学基礎研において基礎実験能力と研究能力との間を埋めるための新しい実験教育プログラムを開始することになりました。このプログラムには、2足歩行ロボット、4足歩行ロボット、VRインタフェースなど先端技術の実験実習を体験可能とし、第5学年の卒研への導入教育および、中学学生体験入学などの学外PR用デモ実験にも利用可能なシステム構築を目指しています。今年度年末に上記システムの公開を予定していますので、その時には多数のOBの参加を期待しています。

電子制御工学科卒業生から構成されている、「せいふう会」会員の皆さんの実社会での活躍は、在学生の励みとなり、またその活躍・活動状況の学科への情報提供のフィードバックは、21世紀の知的革命を担う技術者の卵の孵化に貴重な栄養源となります。後輩のさらなる発展の可能性に賭けて、せいふう会の活動に正のフィードバック回路を電子制御工学科教官と共に、作っていきましょう。

平成15年6月2日
電子制御工学科主任 臼井 敏男

電子制御工学科の近況

電子制御工学科は創設以来、教官の移動も多く、俵口先生（定年退官）、畑先生（三重大）、松田先生（豊田高専）、岡崎先生（湘南工科大）、森田先生（名工大）、川福先生（名工大）が他の大学・高専へ転任されました。また、最近の新しい先生方としては、遠藤眞一郎先生、遠藤登先生、森先生、畑中先生が着任されています。

学科の設備としては、昨年度の大型予算により、4階の情報処理演習室に電子制御工学実験教育システムが導入されました。2足歩行ロボット（写真）や他の先進的な実験設備により、学生がますます積極的・創造的に成長してくれるものと期待しています。

学科教官では、木下先生が今年から副校長（教務主事）となられ、学校全体の中核として忙しく働かれています。また、他の先生方も皆、元気に頑張っておられます。

ロゴマークを募集します

せいふう会のロゴマークを募集します。せいふう会にふさわしい、さわやかで明るい未来を予感させるような、素敵なロゴマークを事務局まで送ってください。多数のデザインが集まったら、役員会でロゴマークを決定したいと思います。よろしくお願い致します。



2足歩行ロボットHOPE-1と学生

「せいふう会の活動に
正のフィードバック回
路を電子制御工学科教
官と共に、作っていき
ましょう」（臼井）
